

～～第7720回～～

北岳

～H27.7.19-21～

一日目、静岡駅前を6:00に出発し、新東名「新清水」を出て52号線を走る。奈良田バス停に「白峰三山」に挑戦する焼津支部がいた。マイカー規制で一般車は開運隧道までしか行けない。ここから広河原まで山梨交通のバスで行く。大門沢の入口で「第一発電所」バス停になっている。9:07のバスに乗車。焼津支部の人達も乗っていた。広河原に9:45着。ストレッチをし、無事登山をお互いに願って白峰三山隊を見送ってから出発。大樺沢には雪渓が見える。吊り橋を渡って北岳隊の夏山が始まった。白根御池分岐(1660m)で休憩。ここから急登だ。第一ベンチを通り過ぎたあたりで雨がポツリ、樹林帯に入っていたのでそのまま歩いたが雨足が激しくなりカッパを着た。白根御池小屋まで雨は止まなかった。小屋まで3時間40分かかった。乾燥室もあり助かる。1部屋8人分の布団に11人。落ち着いたところでクールダウン。1階のミーティングルームで初日の反省会。17:00に鶏から揚げメインの夕食を頂き、早くに就寝。

コースタイム：広河原 1005…白根御池小屋・大樺沢分岐 1040…白根御池小屋 1345

記録：静岡葵支部 C.M

二日目、4:15起床。5:00塩鮭、玉子焼きの定番の朝食を取り5:30出発。白根御池小屋から、草すべりをほぼ一直線に登る。最初の登りは一帯がお花畑でミヤマハナシノブ、タカネグンナイフウロ、ミヤマキンポウゲが咲き、それからダケカンバの樹林帯、シナノキンバイ、ハクサンイチゲのお花畑と歩くこと2時間で二俣の分岐に着く。そしてさらに30分で小太郎尾根分岐に着く。甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳が目の前に迫り、前方左手には富士山も見える。しかし風が強く指先がじんじんするほどの寒さだ。やっと肩の小屋に着く。ここで見られると聞いたキタダケソウの花はすでに咲き終わった後だった。ストックもしまい露岩帯の急斜面を北岳に向かう。途中今日泊まる北岳山荘が姿を現す。岩尾根を一登りして北岳に着く。山頂は多くの登山客で賑わっている。万歳三唱する人もいて、どの顔も晴れやかだ。たくさんの高山植物に癒されながら尾根道を北岳山荘まで向かう。17:00夕飯は鯖の味噌煮、肉じゃが等を美味しくいただき20:00消灯。

コースタイム：白根御池小屋 530…二俣分岐 738…小太郎尾根分岐 800…肩の小屋 855-915…北岳 1020-1100…八本歯の科尔分岐①1138…八本歯の科尔分岐②1238…北岳山荘 1300

三日目、4:00「富士山がきれいだよ」の声で目覚める。朝焼けに浮かび上がった富士山が部屋の中から見える。昨夜は星空もとてもきれいだったそう。5:40塩鮭、玉子焼き等の朝食を取り6:30北岳山荘に別れを告げる。トラバース道を通り八本歯の科尔分岐まで行く。このトラバース道はお花畑で、キタダケソウの保護育成区もあり、そこにタカネマンテマが咲いていた。岩場を広河原分岐まで行く。いよいよ八本歯の科尔である。丸太の梯子の連続で一気に下る。大樺沢支流の雪渓も2回渡り二俣の分岐に着く。雪渓は前の人の足跡に自分の足跡を重ねて慎重に歩く。二俣にはバイオトイレが3つ設

置されていた。またこの一帯はミヤマハナシノブの群生地でもあった。雪溪も終わり、沢沿いをひたすら下る。白根御池小屋との分岐に着き、ホッとす。広河原より奈良田行きのバスに乗り第1発電所バス停で、迎いのマイクロバスに乗り換える。途中西山温泉で3日間の汗を流し帰路に着く。

コースタイム：北岳山荘 630…八本歯のコル分岐 745…八本歯のコル 830…大樺沢二俣 1115…白根御池小屋分岐 1305…広河原山荘 1330…広河原 1337-1400=(山梨交通バス)
=第1発電所 1434=(マイクロバス)=西山温泉 1455-1540=静岡駅着 1800

参加者；11名（静岡葵5、富士宮1、静岡南3）

天候；①晴れのち曇り時々小雨 ②晴れ ③晴れ

地図：仙丈ヶ岳・鳳凰山

記録：静岡葵支部 K. Y



希少種タカネマンテマ



チョウノスケソウは北岳周辺にいっぱい咲いていた。



八本歯のコルに向けて岩に向かう。富士山はいつ見ても素晴らしい。